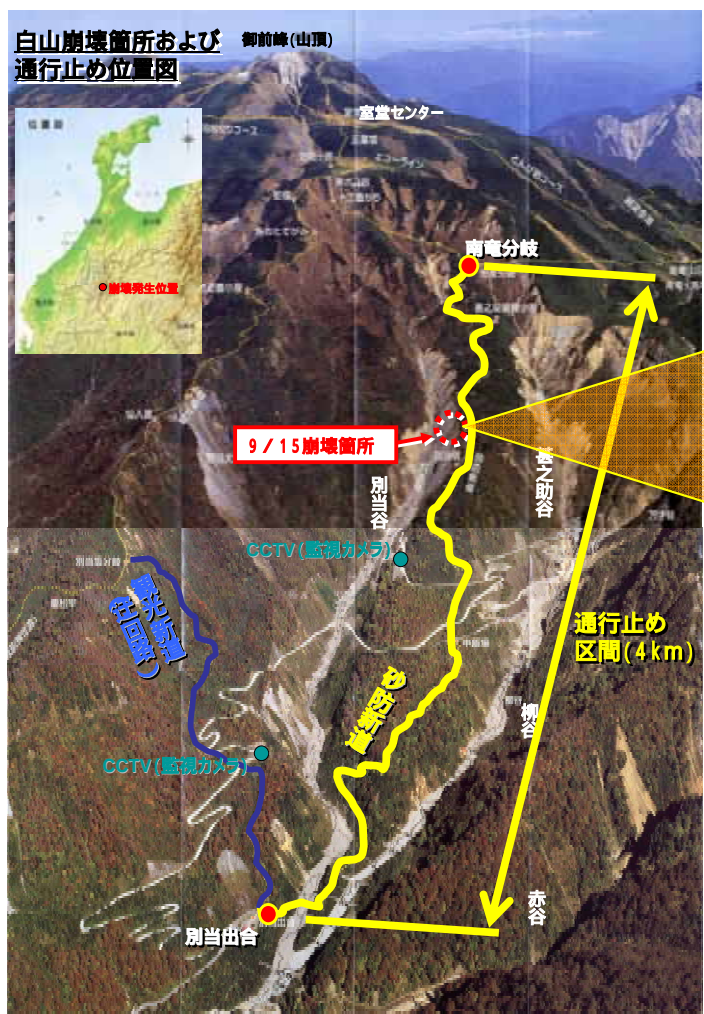


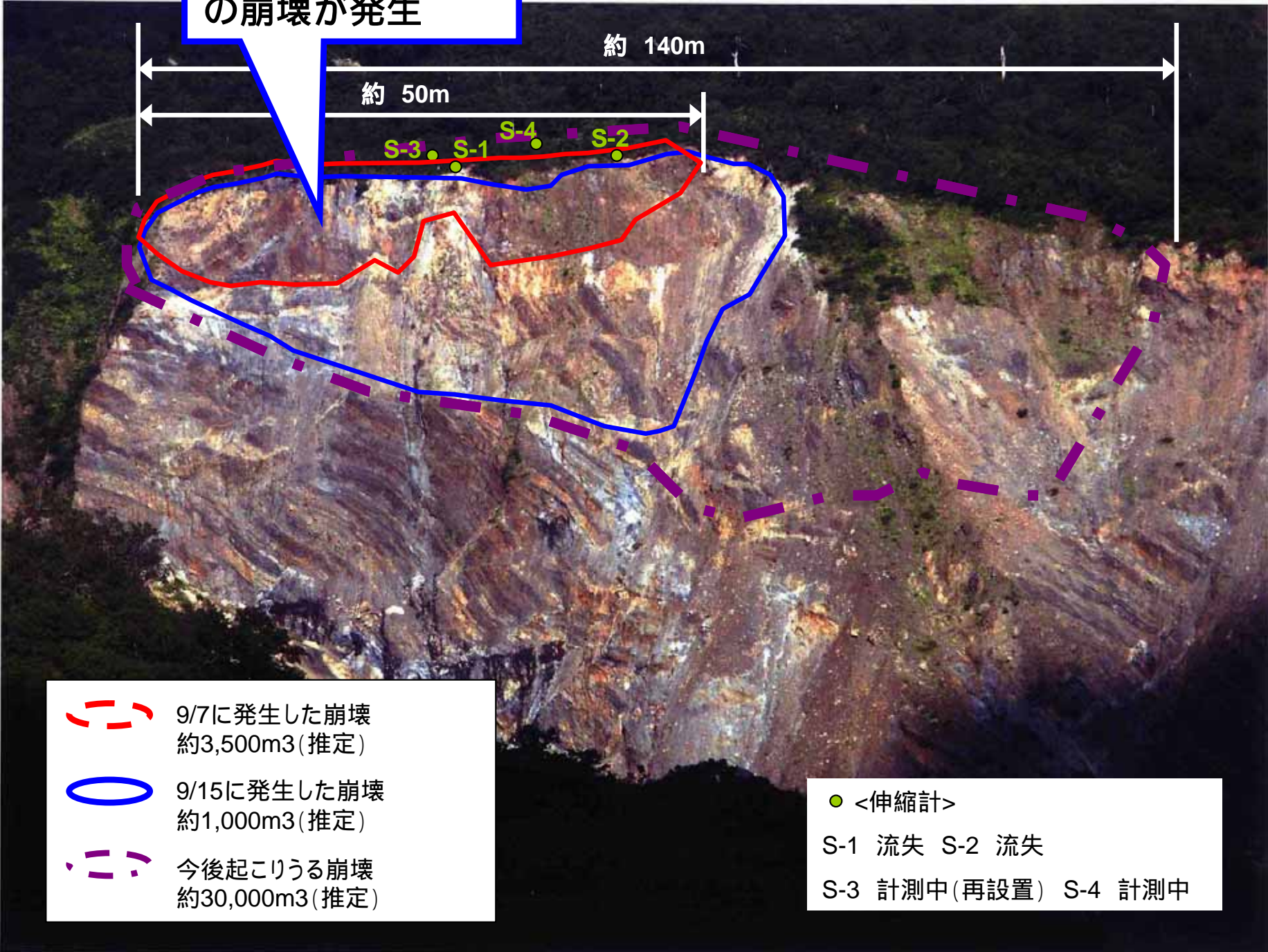
石川県白山別当谷の上流で9/15に発生した山腹崩壊について

- ・9月7日に約3600m³の山腹崩壊が発生。
- ・9月8日に地盤伸縮計を設置し、9月10日、地すべり性の亀裂の拡大が進行していることを認識(金沢河川国道事務所)。
- ・最大約3万m³の山腹崩壊を想定し、県と連携し登山者や下流工事関係者の安全対策を実施。
- ・地すべりの崩壊予測式に基づく崩壊時刻を15日0:00頃と設定し危機管理体制を強化。
- ・9月15日4:20頃地すべり性の山腹崩壊が発生し約1,000m³の土砂が斜面および谷に堆積した。
- ・即日、現地調査を実施し、崩壊の拡大が予測される箇所に増設。
- ・人的被害、一般被害等は発生しなかったが、今後の崩壊拡大の可能性もあり観測体制を強化。
- ・専門家による崩壊拡大推定範囲、崩落土砂の再移動等に関する調査を実施。



崩壊前の斜面状況と今回の崩壊範囲

9/15に約1,000m³の崩壊が発生

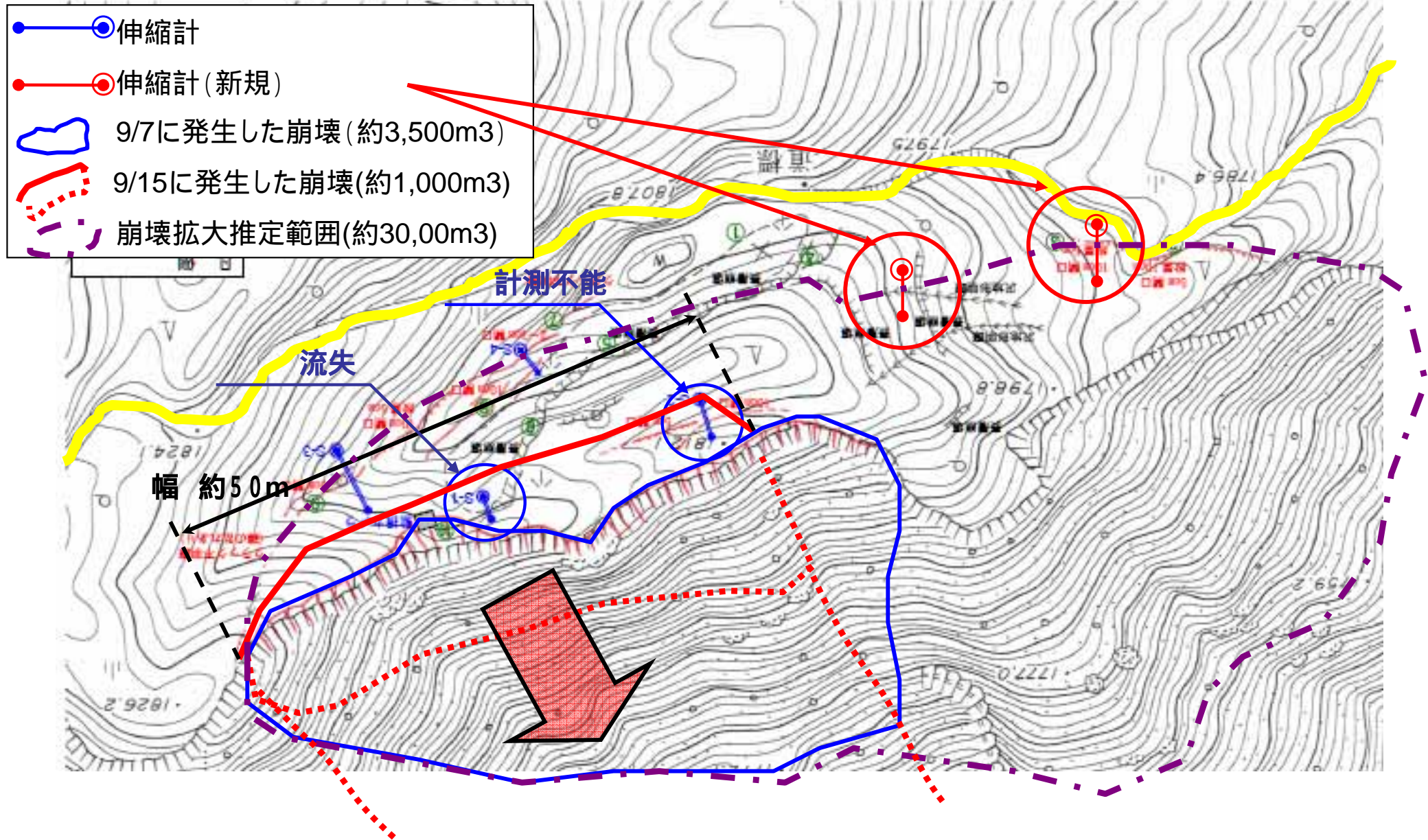


- - - 9/7に発生した崩壊
約3,500m³(推定)
- — — 9/15に発生した崩壊
約1,000m³(推定)
- - - 今後起こりうる崩壊
約30,000m³(推定)

- <伸縮計>
- S-1 流失 S-2 流失
- S-3 計測中(再設置) S-4 計測中

9月7日、15崩壊の範囲と崩壊拡大推定範囲と計測機器設置位置

設置していた伸縮計の多くが9/15の崩壊によって計測不能となったためその日のうちに伸縮計を新たに設置しなおし、監視体制を強化。



(参考) 地盤伸縮計の変位速度に基づく崩壊予測 (9月14日14:30)

